

いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信



岩沼市マスコットキャラクター
岩沼係長

第40号

2025年5月16日発行
岩沼市ふるさと展示室
(市民図書館2階)
TEL: 0223-25-2302

これまでの通信
はこちらから!



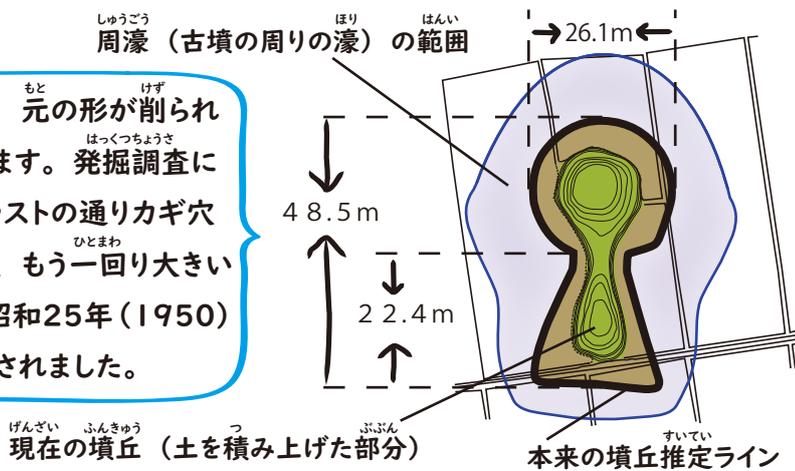
かたち こふん
☆形からみる古墳 その1☆

今回の通信も、全国各地に古墳が造られた時代=古墳時代（3世紀おわり～7世紀おわり）*約1800年前から約400年間）を特集します。第1回は「前方後円墳」です。この形の古墳に眠る人物は、古墳時代に日本の大部分を支配したヤマト王権と強い結びつきがあったとされます。県内では名取市に東北地方最大規模の雷神山古墳があります。岩沼市にも県内で最も古い時期の前方後円墳の一つである、かめ塚古墳があります。これらの前方後円墳を通し、基本的な形などについて紹介します。

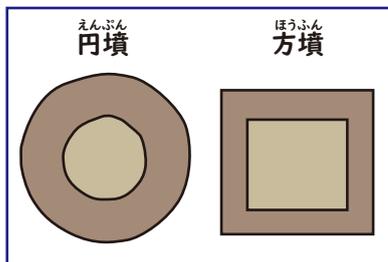
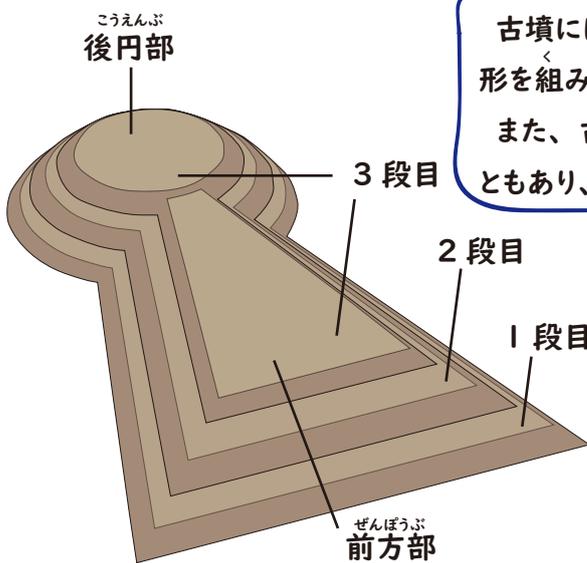


かめ塚古墳

水田作りなどにより、元の形が削られて少し小さくなっています。発掘調査により本来は、右のイラストの通りカギ穴のような形をしており、もう一回り大きい形をしていました。昭和25年(1950)に、県の史跡に指定されました。



古墳には様々な形がありますが、よほど特別なものをのぞいて、円墳と方墳の形を組み合わせる造られることが多いです。また、古墳は1段目、2段目というように段差をつけて積み重ねて造られることもあり、雷神山古墳は左のイラストのように3段目までありました。



かめ塚古墳の遺物 (一木二又鋤)

かめ塚古墳の周濠からは、左の写真のような木で作られた昔の農具(一木二又鋤)がほぼ完全な形で見つかりました。この農具は、土を掘りおこすもので長さ102cm、幅14.4cm、厚さ3cmありました。



ふるさと展示室
キャラクター
岩沼とんちゃん

次回の通信では、☆形からみる古墳 その2☆として「横穴墓」についての特集をお伝えする予定です。